

は直接之れに交渉し既に他の聯合体に加盟せる組合に向つて
可決

(10) 中邦交通労働組合自体に本聯盟に加盟することに決定し
又母体団体たる日本労働組合評議會に於て既に之れを
諒解し居れるとのことなるを以て至急之れを交渉を開始
すべきこと
可決

宣言
上言

我等ハ茲ニ日本交通労働総聯盟ノ確立ニ際シ其主張ト方策トヲ廣ク天下
ニ宣ヒヨス

今ヤ國家資本主義ハ其ノ最後ノ發達行程タル帝國主義時代ニ到達シタ
現ヨ歐洲ニ於ケル國際資本戰ハ遂ニ世界大戰ヲ惹起シテ其根底ニ横ハル
兼慮ト罪惡ヲ最モ露骨ニ社會民衆ノ前ニ曝露シタ而シテ國際資本
本主義ニ於テハカラカル一大亀裂ヲ生シ漸次没落ノ行程ヲ辿リツアルヲ見ヨ
英國ニ於ケル炭坑争議ヲ「ジュネーブ」ニ於ケル國際的軍備ノ縮小會議ヲ
近クハ隣邦支那ニ於ケル關稅會議ヲ廣東上海ニ於ケル資源ト市場ノ争奪
戰ヲ尚ホ一方國際資本ノ攻勢ハ極度ニ勞資債銀ヲ低下セシメ數百ノ失業群ヲ
街頭ニ投ケ出シ勞働無産大衆ニ多大ノ犠牲ヲ重課セシメ以テ其行詰リツマルヲ
打開セントシテ居ル

茲ニ於テ世界各國ニ於ケル階級的對立ハ益々激甚トシ勞資ノ鬭争ハ愈々深刻
トナリツアル此時ニ際シテ勞働運動ノ國際的情勢ヲ見ルニ三派ノコインタナシヨ
ナルニ分裂表シ階級的陣容ノ整備ヲ遲滞セシメツマハリ